

『植物と人々の博物館』 vol.15

①「小菅村巡検」と「第16回雑穀栽培講習会」

5月10～11日に、協力団体であるNPO法人エコプラス（代表：高野孝子さん）の方が、小菅村に巡検に来ました。本会と共同で、伝統的な智慧＝「伝統智（知）」について調査研究を行っているため、お互いの活動拠点を見合う目的です。「エコミュージアム日本村構想」の小菅村を案内しながら、翌日の雑穀栽培講習会にもご参加いただきました。

雑穀栽培講習会では、隣の丹波山村の岡部良雄さんご夫妻に講師をしていただきました。アワ・キビの播種だけでなく、今年は竹かごづくりのプログラムも行いました。



①種まき



②竹かごづくり



③防鳥ネットした雑穀見本園



④活動後に、伝統智研究会の開催

そして翌週、今度はNPO法人エコプラスの活動拠点である、新潟県の南魚沼へ伺いました。

②伝統智研究会～南魚沼巡検

小菅巡検の翌週の5/16-17に、南魚沼へ行きました。相談役の木俣美樹男さん、代表理事の中込卓男さん、事務局の黒澤の3名で伺いました。

東京駅から新幹線でも1時間。越後湯沢駅へ到着、「小菅よりも近いかも」と思ったりしながら、栲笥集落へ到着。集落を案内していただき、地元住民も交えた意見交換会を経て、待望の夕食を待ちます。小菅村も「山菜」がウリですが、ここ南魚沼の山菜は雪国なので本場なのです！！



民宿での夕食。木の芽＝ミツバアケビが絶品！

翌日は、山菜教室に合流させていただきます。畦や道沿いに、ウド、ツリガネニンジン、シオデ、ミツバアケビなど普通に生えています。



収穫後に鑑定会を行い、おみやげにさせていただきます。



そして、昼食は地元のおばちゃんたちが用意してくれた「山菜づくし」のフルコース。これにはぶったまげました。「スゲー」の一言です。

振り返り会をして、南魚沼を後にしました。

感想は、やはり山菜は本場。小菅と違って空が広い。パノラマな景色、酒が旨い。（事務局）

③東京学芸大学の小菅実習

7/5-6 の日程で、学芸大学の小菅実習「自然文化環境調査法 AB 農山村における生物文化多様性フィールド実習」をご案内しました。担当は、新しく赴任された小柳知代先生です。学生 22 名が 3~4 班に別れて、村民を訪問します。



①木俣さんによる博物館案内 ワサビ田での聴き取り実習

日中に、養蜂の青柳竹男さん、養魚場の木下稔さん、食べ物の守屋アキコさん、狩猟の青柳一男さんの 4 軒を訪ねました。

夜の座談会はキャンプ場で囲炉裏を囲みました。



翌日は、3 チームに分かれて実際に作業します。畑、手打ちそば、シカ避けの網張りなどを手伝いました。後日、大学で実習成果の発表会があり、学生から見た（客観的な）小菅村の報告を聞かせてもらいました！！（事務局）

『小菅村の動き』 vol.15

夏のお盆空け…土日以外、小菅村は日常の平静さに戻りつつあります。そして 9 月になると、紅葉シーズンまでしばらく穏やかな状況が続きます。

①小菅村のいろいろ

10 月 1 日よりバス路線に変更があります。なんと！奥多摩駅から小菅の湯への直通バスになります。

また、11 月中には、小菅村～大月市をつなぐ「松姫トンネル」が開通しますよ！！（11 月 17 日に開通式）

さらに、小菅の湯駐車場に、「道の駅 こすげ」が年明けにはオープンします。

年明けの 3 月には、小菅村役場の新庁舎が完成します。いろいろ便利になっていきますが、本会はいつもどおり、ま～ったりと活動をしていますよ！！

②第 17 回「大地の恵まつり」

11 月 3 日（月・祝）に小菅の湯物産館（駐車場）にて開催します。本会でもお世話になっている「小菅村 100% 自然塾」では、朝採れのきのこの販売と、きのこのうどんを販売します。「きのこ採りに行きたい！！」という方は、9 時まで小菅の湯物産館に来て、合流していただければ、一緒に山にも入れますので、ご連絡くださ

い。夜は宴会です。翌日は平日ですが泊まりも OK？



きのこ販売。飲みながら～。

③今年のきのこ

夏場にちゃんと雨も降りましたし、冷え込みもちょうどしているので、きのこの具合は良いみたいです。既に、マツタケ・マイタケを採った情報はあります。冷え込みが進みすぎて、既にムキタケが発生しているようですよ。